

平成24年度 教育実践総合センター活動概要

1. 構成員

センター長（併任）：教授 岡 直樹

専任教員：

《学校教育相談実践部門》

教授 岡 直樹 教授 栗原 慎二

特任助教 エリクソン・ユキコ 特任助教 外山 智絵

研究協力員 中村 涼（安田女子短期大学准教授） 池田 隆（広島県立教育センター）

坂出 義子（バーミンガム大学国際教育研究センター）

《教育実践研究開発部門》

准教授 二井岡 直文

事務補佐員：竹ノ中亜由美

2. 主催・共催による公開講演会・シンポジウム・研究会等の活動

(1) 子どもの心と学び支援セミナー

①子どもの心と学び支援セミナー：「非行問題を考える」

期日：平成24年5月26日（土）

場所：比治山大学6号館201号室

講師：栗原慎二（広島大学）・金山健一（県立広島大学）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50名

②子どもの心と学び支援セミナー：「生活保護世帯の子どもたちの実態と心理・学習支援ー子どもの貧困を巡る問題」

期日：平成24年5月31日（木）

場所：広島大学大学院教育学研究科第3・4会議室

講師：平井聡浩（健康福祉企画課主査）・吉迫清海（元安佐中学校校長）

佐々木薫（元尾長小学校校長）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：60名

③子どもの心と学び支援セミナー：「通常学級における特別支援」

期日：平成24年7月7日（土）

場所：比治山大学5号館207号室

講師：バーンズ 亀山 静子（ニューヨーク市公認スクールサイコロジスト）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50名

④子どもの心と学び支援セミナー：「子どもの対人関係能力を育てる」

期日：平成24年9月22日（土）

場所：比治山大学6号館201号室

講師：山田洋平（福岡教育大学）・高下賢一（呉市昭和南小学校・生徒指導主事）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50名

⑤子どもの心と学び支援セミナー：「いじめの理解と対応」

期日：平成24年11月25日（木）

場所：比治山大学6号館201号室

講師：栗原慎二（広島大学）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生，大学教員 参加者数：50人

⑥子どもの心と学び支援セミナー：「若者サポートステーションに集う若者たちー社会に適応できない若者たちの支援とその実際ー」

期日：平成25年1月17日（木）

場所：広島大学教育学部 L304-1

講師：堀田彩（広島地域若者サポートステーション）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：25名

⑦子どもの心と学び支援セミナー：「保護者対応」

期日：平成25年1月19日（土）

場所：アステールプラザ（国際青年会館）研修室

講師：岡崎正明（南区保健福祉課）・栗原慎二（広島大学）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50名

⑧子どもの心と学び支援セミナー：「学校と地域（子どもたちを支える居場所）との連携」

期日：平成25年3月24日（土） 場所：広島大学教育学部 L304-1

講師：米沢崇（広島大学）・山下智也（西日本短期大学）・吉村真実（子どもNPOセンター福岡）

対象：教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50名予定

（2）教員養成講座

①「教育現場に巣立つ皆様へ～教員生活のスタートを充実させるために～」

期日：平成25年2月7日（木）

場所：広島大学教育学部 L304-1

講師：二井岡直文（広島大学〔実務家教員〕）

対象：教職志望の大学生・大学院生 参加者数：20名

≪本講座においては、本採用及び臨時的任用等の初任教員となる者あるいは教員を志望する者が、その力量を十分に発揮するため、4月からの教育現場での実際について見通しを持ち、意欲を高めることを目的として、校務への取り組み方を中心に実務家教員による講話を実施した。≫

3. センター専任教員による学外講演等の活動

（1）生徒指導・教育相談，認知カウンセリング，学習支援，アセスメント等に係る講演・演習指導

期間：通年（160回）

対象：主に教員，保護者 人数：約7500名

（2）「教育相談を効果的に推進するために」平成24年度教育相談指導者養成研修

期日：平成24年10月4日

場所：独立行政法人教員研修センター

人数：72名

（3）「総社市不登校対策研修会」総社市教育委員会

期日：4/24, 5/8, 5/28, 6/18, 6/29, 8/20, 8/21, 8/27, 10/2, 11/30, 3/8

人数：約1800名

（4）「小中一貫教育の推進～生徒指導の三機能の充実を通して～」ほか 福山市立済美中学校校内研修，同校区内小中学校教職員研修

期日：5/24, 8/2, 1/15

人数：約70名

（5）「授業に生かす生徒指導の三機能」ほか 世羅町立甲山中学校教育研究会，校内研修

期日：6/6, 9/14, 10/16, 2/6

人数：40名

(6) 「言語活動を通して確かな学力を育む授業の創造について」東広島市立磯松中学校校内研修

期日：2/21

人数：15名

4. 研究活動

(1) センタープロジェクト研究

①岡山県総社市との協力に基づく共同研究

「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革の研究」

②「日本版包括的アプローチと生徒指導・教育相談研修プログラムの開発的研究」

(2) 平成24年度教育学研究科共同研究プロジェクト

「子どもの心と学び支援実習が学生の専門的実践力育成に及ぼす効果—教師効力感の育成をめざして—」

5. 教育・社会貢献事業

(1) にこにこルーム（学校心理教育支援室）

《学習相談》 にこにこルームの学習相談に参加した学生は58名。

①前期（2012年5月9日から2012年7月25日）水曜日の活動

東広島市内の小学校14校から4年生以上の児童16名を抽選で選び、5月9日から7月25日までの計11回、毎週水曜日に認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行った。時間は、午後5時30分から午後7時20分までの110分で、算数の認知カウンセリングを60分、レクリエーションを45分、保護者も交えた帰りの会を5分行った。セッション終了後、毎回ケース検討会を行った。

また、月曜日・火曜日にも児童4名、生徒5名の認知カウンセリングを60分行った。

②後期（2012年11月7日から2013年2月20日）水曜日の活動

東広島市内の小学校14校から4年生以上の児童16名を抽選で選び、11月7日から2月20日までの計12回、毎週水曜日に認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行った。時間は、午後5時30分から午後7時20分までの110分で、算数の認知カウンセリングを60分、レクリエーションを45分、保護者も交えた帰りの会を5分行った。セッション終了後、毎回ケース検討会を行った。

また、月曜日・火曜日にも児童5名、生徒6名の認知カウンセリングを60分行った。

③夏休み、春休み

2012年8月1日・2日の2日間、1回あたり60分、小学生・中学生を対象に認知カウンセリング（サマー・セッション）を行った。参加者および参加学生は、それぞれ21名。

2013年3月4日から6日の3日間、1回あたり60分から90分、小学生・中学生を対象に認知カウンセリング（スプリング・セッション）を行った。参加者および参加学生は、それぞれ24名。また、後期のその他の活動に参加した学生は春休みも継続して参加した。

④その他の活動

ア 2012年8月9日から10日の2日間、広島市内の公立中学校にて学習支援を行った。参加学生は7名。

イ 2012年8月8日から9日の2日間、福山大学にて小学生を対象とした学習支援を行った。参加学生は2名。

- ウ 2012年5月から2013年2月にかけて、東広島市内の児童養護施設にて毎週土曜日・日曜日に学習支援を行った。参加学生は7名。
- エ 2012年11月から2013年2月にかけて、広島市生活保護受給世帯学習支援事業に毎週木曜日学生ボランティアとして参加した。参加学生は2名。
- オ 2012年5月から2013年2月にかけて、東広島市内の公立小学校にて毎週火曜日・木曜日に学習支援を行った。参加学生は7名。
- カ 2012年8月4日・5日、8月11日・12日、10月14日、11月17日・18日に広島市内で行われた農業体験活動に学生ボランティアとして参加した。参加学生は12名。
- キ にこにこ広島ルームでは、にこにこルーム個別学習相談窓口にて受け付けた小学生から高校生までの児童・生徒7名に対して、火曜日(3名)・木曜日(4名)に国語・算数・英語の認知カウンセリングを30-60分を行った(教科・時間についてはそれぞれの相談のニーズにあわせて決定した)。

平成24年度に実施した学習相談の延べ相談件数は、にこにこルームが98件、にこにこ広島ルームが7件であった。また、延べ面接回数はにこにこルームが616回、にこにこ広島ルームが62回であった(平成25年3月7日現在)。

《学校臨床相談》

一年間を通じて臨床心理士と大学院生の学生支援員による学校臨床相談活動を実施した。1回の面接は50分で、原則10回～15回を上限とした回数限定でカウンセリング、ソーシャル・スキル・トレーニング等を行った。学生支援員が担当するケースの判別は臨床心理士が行い、インターネット面接の実施後、学生が児童生徒の面接を担当した。学生の担当する面接の前後30分はスーパービジョンを行い、また、ケース検討会において公開スーパービジョンを実施した。

①にこにこ広島ルーム臨床相談(毎週土曜日)

広島市内の相談室において、毎週土曜日(10:00～16:30)に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は21件で、延べ相談件数は99回であった(2/28現在)。相談に訪れたケースは小学校2年生～高校1年生までで、不登校および不登校傾向に関する相談、いじめに関する相談、発達障害に関する相談等が中心であった。広島ルームでの支援員は3名で、児童生徒を対象にソーシャル・スキル・トレーニングやカウンセリングを実施した。

②にこにこ東広島ルーム臨床相談(毎週日曜日)

広島大学キャンパス内の相談室において、毎週日曜日(10:00～17:30)に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は12件で、延べ相談件数は89回であった(2/28現在)。相談に訪れたケースは小学校3年生～高校3年生までで、不登校および不登校傾向に関する相談、いじめに関する相談、発達障害に関する相談、その他精神症状に関する相談であった。東広島ルームの支援員は7名で、児童生徒を対象にソーシャル・スキル・トレーニングやカウンセリングを実施した。

③定期ケース検討会(木曜日18:00～20:30) 延べ23回

前期・後期共に定期ケース検討会を実施した。参加学生はあらかじめ登録した28名で、臨床心理士及び学生支援員の担当するケースの事例検討会を行った。

(2) 学校コンサルテーション活動

概要：学校での生徒指導・教育相談に関するコンサルテーション

時期：通年(50回)

対象：教員および保護者等 人数：延べ約120名

(3) フレンドシップ事業「ゆかいな土曜日」

教育実践総合センターの教員をはじめ学内委員 14 名から成るフレンドシップ事業運営委員会を組織し、「地域教育実践 I・II」の授業として通年で開講した。H24.5 から H25.2 にかけて月例活動 9 回、保護者懇談会 1 回 (7/21)、シンポジウム 1 回 (2/16) を行った。月例活動の活動時間帯は、午前 10 時から午後 4 時。参加学生は、受講学生と単位を必要としないボランティア学生の計 102 名。児童は東広島市立小学校 35 校から募集した 110 名。地域協力者は、東広島市下見地区を中心とする 14 名。児童 7~8 名と学生 5 名で 1 班とし、16 班を編成、さらに、オリンピック (4 班)、チャレンジ (4 班)、アウトドア (4 班)、職人 (4 班) の 4 グループに分けてグループ活動や畑での栽培活動、餅つきなどの活動を行った。

(4) 学外から委嘱された委員等

- ・日本教育心理学会理事
- ・日本心理学会専門別議員(第 1 部門)
- ・一般社団法人学校心理士認定運営機構認定委員会副委員長
- ・文部科学省「不登校生徒に関する追跡調査研究会」委員
- ・日本学校教育相談学会広島支部長
- ・財団法人こども教育支援財団ディレクター
- ・NPO 広島産業カウンセリング研究会自由区顧問
- ・日本学校教育相談学会論文審査協力委員
- ・日本ピア・サポート学会研究紀要委員長
- ・東広島市青少年問題協議会委員
- ・東広島市教育委員会 学校教育レベルアッププラン推進委員会委員

6. 研究紀要の刊行

- ・学校教育実践学研究 (第 19 巻) の刊行